

*看護総合演習(溝部)

| | | | | | | | | | | | |
|------------------------|--|-----|----|------|-----------|------|----|-----|---|-------------|----------|
| 授業科目 | *看護総合演習(溝部) | | | | 実務家教員担当科目 | ○ | | | | | |
| 単位 | 1. | 履修 | 必修 | 開講年次 | 4 | 開講時期 | 通年 | | | | |
| 担当教員 | 溝部 昌子 | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | 看護実践及び専門領域上の自己の課題を探求するために、主体的に既習の知識・技術の統合を図りながら、課題への適切な介入の方法を討議・検討し、実習計画を立案する。看護総合実習での成果を基に、レポートを作成し、実習における実践を考察する。発表要約を作成し、グループ間で発表し、意見交換を行う。(看護総合演習は看護総合実習の事前事後演習として位置づける) 授業は専門領域における実務家教員が各自グループメンバーの課題を踏まえ演習を進める。 | | | | | | | | | | |
| 授業形態 | ゼミごと(6-7名の小グループ)で運営する。担当教員と調整しながら学生たちが主体的に学習活動を展開する。 | | | | 授業方法 | | | | | | |
| 学生が達成すべき行動目標 | | | | | | | | | | | |
| 標準的レベル | 1. 関心ある領域における知識・技術を深め、自己の課題について考えることができる。 2. 自己の課題を基に、看護総合実習の計画立案ができる。 3. 看護総合実習の成果を基に、テーマに沿ってレポートを作成し、看護及び専門領域を探求する。 4. 発表要約をもとに、グループ間で発表を行い、意見交換ができる | | | | | | | | | | |
| 理想的レベル | 1. 関心ある領域における知識・技術を積極的・主体的に深めるとともに、自己の課題について、グループ間で討議・検討し、広い視野から考えることができる。 2. 課題を基にした看護総合実習の計画立案では、関連する文献を読み込み、根拠に基づく実践を志向することができる。 3. レポート作成においては、看護総合実習の成果を基に、可能な限り先行研究を調べ、検討し、客観的・科学的に看護・教育を考察する。 4. 発表要約を作成し、わかりやすく効果的な発表を行い、積極的に意見交換を行うことができる。 | | | | | | | | | | |
| 評価方法・評価割合 | | | | | | | | | | | |
| 評価方法 | 評価割合(数値) | | | | 備考 | | | | | | |
| 試験 | | | | | | | | | | | |
| 小テスト | | | | | | | | | | | |
| レポート | 60% | | | | | | | | | | |
| 発表(口頭、プレゼンテーション) | 20% | | | | | | | | | | |
| レポート外の提出物 | 20% | | | | | | | | | | |
| その他 | | | | | | | | | | | |
| カリキュラムマップ(該当DP)・ナンバリング | | | | | | | | | | | |
| DP1 | - | DP2 | ○ | DP3 | ○ | DP4 | ○ | DP5 | - | ナンバリング | NU31407J |
| 学習課題(予習・復習) | | | | | | | | | | 1回の学習目安(時間) | |
| 学生が主体的に課題を探索し学習する。 | | | | | | | | | | 1 | |
| 授業計画 | | | | | | | | | | | |
| 第1回 | 1.オリエンテーション(各担当教員) | | | | | | | | | | |

| | |
|-----------------------|--|
| | <p>演習の概要について説明し、その履修方法や演習の目的、達成の目安、評価の内容と方法を説明する。</p> <p>2. 看護総合演習は看護総合実習の事前事後演習として位置づけ、看護総合実習に向けて学生個々の課題（事例）を明確にする。学生は既習の専門知識の整理・統合を図りながら、課題（事例）への適切な介入および必要な看護技術について、確認し熟達を図る。</p> <p>3. 課題（事例）解決に向けて、看護総合実習の実習計画書を立案する。</p> <p>4. 看護総合実習の成果を基に、レポートを作成する。グループ間で発表を行い、意見交換し、看護総合実習における実践を考察する。</p> |
| テキスト | 指定なし。必要に応じてプリントを配布する。 |
| 参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介 | 課題に応じて主体的に文献を探索する。必要があれば、担当教員が紹介する。 |
| 課題に対するフィードバックの方法 | 評価については、一連のプロセスにおいて演習に対する各自のテーマ設定や取り組み姿勢も含めて最終評価し、個別にフィードバックします。 |
| 学生へのメッセージ・コメント | <p>これまでの臨地実習・演習における看護実践を振り返り、必要な事項は学習しておくこと。</p> <p>学習活動は、すべて学生が主体的に計画することを原則としています。自ら積極的に学習し、グループ間で課題を共有し、討議・検討を進めていただきたい。</p> <p>社会に出て活躍できる看護職者としての看護実践能力、人間力を養うために、自己の課題に向き合い、主体的な学習を期待します。</p> |